

# 芦田川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～備後地域の産業と暮らしを守る流域治水対策の推進～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、芦田川水系においても事前防災対策を進める必要があります。
- 芦田川は、一度氾濫が起これば、下流低平地に広範囲に浸水被害が広がりが長期化する特性を有しており、平成30年7月豪雨においても広範囲に浸水被害が発生したことを踏まえ、洪水時の水位を下げる河道掘削や内水被害を軽減する排水機能増強などの事前防災対策を進めます。
- 以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の平成30年7月豪雨と同規模の洪水に対して、家屋浸水を防止し、流域における浸水被害の軽減を図ります。あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取り組みを実施し「逃げ遅れゼロ」を目指します。



※完了箇所はグレー着色



# 芦田川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～備後地域の産業と暮らしを守る流域治水対策の推進～

● 芦田川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

平成30年7月豪雨では、福山・府中市域において内水による浸水被害が先行して発生していることから

【短期・中期】 福山市街地等での浸水被害を防ぐため、下流部の河道掘削、排水機場の整備、雨水貯留施設の整備、浸水対策補助制度の検討・創設や防災ステーションの整備等を実施し、あわせて、逃げ遅れゼロを目指した、避難計画策定・ハザードマップ改訂周知・関係機関との実践的な訓練・排水計画の策定などソフト対策を継続的に実施する。

【中長期】 芦田川の中流部及び上流部の浸水被害を防ぐため、河道掘削、浸水対策補助制度の検討・創設や防災ステーションの整備等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。

区分	対策内容	事業主体	対策工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策			草戸水呑地区 河道掘削		
	福山市街地等での浸水被害を防ぐため、下流部の河道掘削	国交省 広島県	草戸・水呑地区		
	芦田川の中流部及び上流部の浸水被害を防ぐため、河道掘削及び支川の河道拡幅、護岸整備、排水機場整備		福川・天王前川排水機場	土生・目崎・父石地区	
			西谷川・加茂川・福川・吉野川	御幸・郷分・駅家地区 新市・芦田地区 中須地区	
			神谷川・瀬戸川・有地川・御調川・服部川		
			ポンプ増設 分解整備、更新等	ポンプ場増設等	
	内水被害を軽減させるため排水機能の向上	福山市 府中市	大橋、御幸、小山、川南、掛上樋門、戸手ほか	森脇、千田、小森・谷尻、佐波、津之郷ほか	
	ため池を活用した雨水貯留施設等整備	福山市	珠池、豊田池、丙里池、平田池、正藤池ほか		
砂防堰堤等の整備による土砂流出対策	広島県	砂防堰堤等の整備			
森林整備、治山施設整備による雨水の流出抑制	林野庁 広島県 森林整備センター	森林整備			
		治山施設整備			
被害対象を減少させるための対策	防災・減災のための住まい方や土地利用の推進	福山市 府中市	浸水対策補助制度の検討・創設		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策			危機管理水位計増設 避難計画等の策定	関係機関との実践的な訓練など継続的な取組	
	広域避難を考慮したハザードマップの改訂周知等、タイムラインに基づく実践的な訓練、防災教育や防災知識の普及	国交省 気象庁 広島県 福山市 府中市	広域避難計画の策定、要配慮者施設の避難計画の作成	要配慮者施設の避難計画に基づく訓練促進、タイムラインに基づく実践的な訓練、防災リーダー研修、マイタイムライン普及促進等	
	より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化、避難行動、水防活動、排水活動に資する水防資機材の配備		防災ステーションの整備・検討	防災ステーション整備	
	排水計画の作成および排水訓練の実施		関係機関が連携した水防訓練、水防団との連絡体制確保と伝送訓練、洪水リスクの高い箇所共同点検、水防活動を支援するための資機材等の配備等		
		排水計画の作成	大規模水害を想定した排水計画に基づく訓練の実施		
グリーンインフラの取組	詳細次ページ	詳細次ページ	詳細次ページ		

**■事業規模**  
 河川対策 約382億円  
 砂防対策 約290億円(他流域含む広島県全体、R3～7年度)  
 下水道対策 約68億円

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

# 芦田川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～備後地域の産業と暮らしを守る流域治水対策の推進～

## グリーンインフラの取組ロードマップ

区分	対策内容	事業主体	対策工程		
			短期	中期	中長期
グリーン インフラ の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浅場環境の創出、多様な水際環境の創出、滞筋や瀬・淵・河畔林の保全、ワンド・たまり等の保全、親水性の確保</li> </ul>	国交省 広島県	浅場環境の創出 (草戸・水呑地区)	多様な水際環境の創出、瀬や河畔林の保全、浅場環境の創出 (御幸・郷分・駅家地区)	
			多様な水際環境の創出、ワンド・たまり等の保全 (新市・芦田地区)		
			多様な水際環境の創出、河畔林保全 (中須地区)		
			多様な水際環境の創出、滞筋や瀬・淵の保全 (西谷川・加茂川・福川)	親水性の確保 (土生・目崎・父石地区)	
			多様な水際環境の創出、滞筋や瀬・淵の保全 (神谷川・瀬戸川・有地川・御調川)		
	・ 魚がのぼりやすい川づくり		魚がのぼりやすい川づくり		
	・ かわまちづくりの推進	国交省 福山市	かわまちづくりの推進		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 河川に関する学習支援（出前講座の実施、学習の場の提供）</li> <li>・ 地元自治体や地域住民、NPO等の参加した河川の協働管理</li> </ul>	国交省 広島県 福山市 府中市 世羅町	河川に関する学習支援（出前講座の実施、学習の場の提供）		
	・ 八田原ダム周辺の地域づくりの推進		八田原ダム周辺の地域づくりの推進		
	・ 森林整備、治山対策における自然環境の保全	林野庁 広島県 森林整備センター	生物多様性等への配慮		







# 芦田川水系流域治水プロジェクト【事業効果(国直轄区間)の見える化】

～備後地域の産業と暮らしを守る流域治水対策の推進～

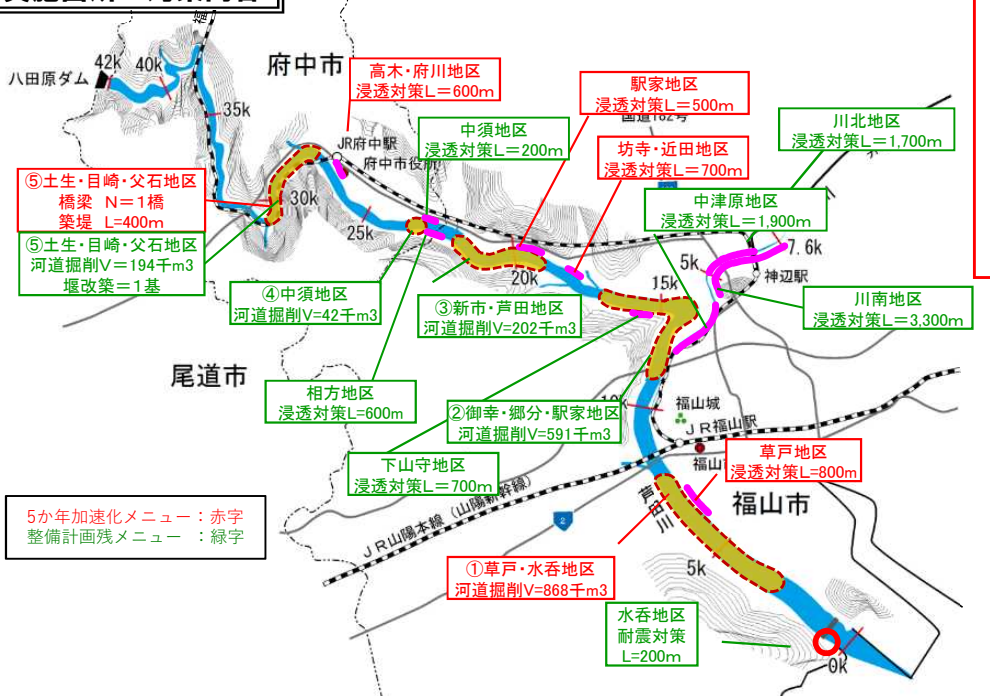
○草戸・水呑地区の河道掘削の短期整備完了に伴い、平成30年7月豪雨による洪水と同規模の洪水でも資産の集中する福山市街地で計画高水位以下で流下させることが可能となる。

## 整備効果

- ・国交省で実施する河川対策を抜き出し分析(県による河川対策や市による流域対策は含まれていない)
- ・支川の対策や内水対策の効果は今後分析予定

**国交省短期整備(5カ年加速化対策)目標: 河川整備率 約51% → 約65%**

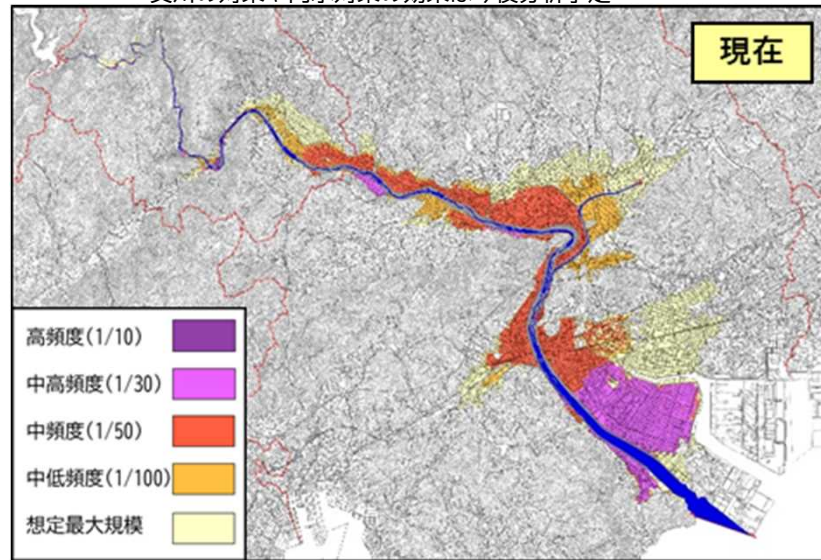
## 実施箇所・対策内容



## 【短期整備完了時の進捗】

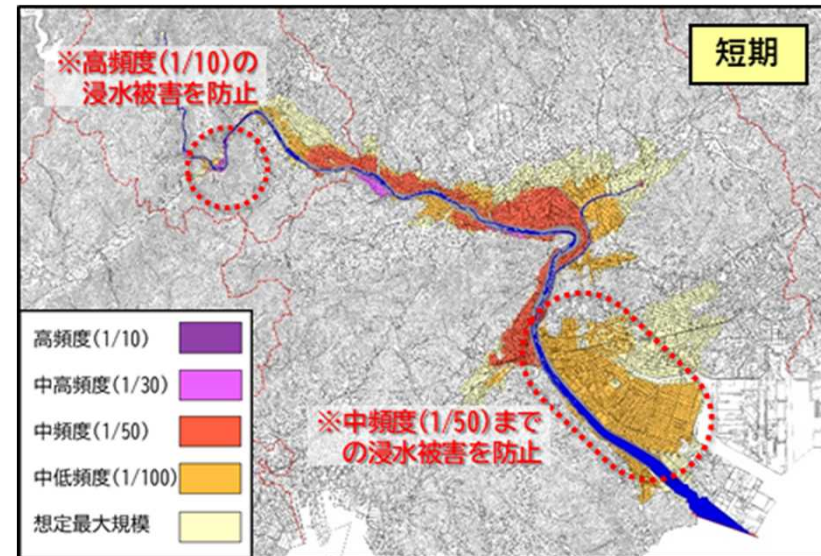
- ①草戸・水呑地区 河道掘削 0% → 100%
- ⑤土生・目崎・父石地区 橋梁改築・築堤・堰改築・河道掘削 0% → 18%
- 浸透対策・耐震対策 0% → 24%

## 現在



※芦田川・高屋川氾濫のみを想定したものであり、中小河川や下水等の内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる可能性がある。

## 短期



## 実施工程

区分	対策内容	区間	【5カ年加速化対策】		
			短期 (R3年度～R7年度)	中期 (R8年度～R15年度)	中長期 (R16年度～R32年度)
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 (国交省に関する部分抜き出し記載)	福山市街地等での浸水被害を防ぐため、下流部の河道掘削  芦田川の中流部及び上流部の浸水被害を防ぐため、河道掘削及び護岸整備、浸透対策等	①草戸・水呑地区	100%		
		②御幸・郷分・駅家地区		100%	
		③新市・芦田地区		100%	
		④中須地区		100%	
		⑤土生・目崎・父石地区	橋梁改築・築堤 18%		堰改築・河道掘削 100%
		浸透対策・耐震対策	24%		

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある



# 芦田川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取り組み】

～備後地域の産業と暮らしを守る流域治水対策の推進～

戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込）



整備率：約65%

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



3市町村

（令和4年度末時点）

流出抑制対策の実施



3施設

（令和3年度実施分）

山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策



治山対策等の実施箇所 5箇所  
（令和4年度実施分）  
砂防関係施設の整備数 1施設  
（令和4年度完成分）  
※施工中 3施設

立地適正化計画における防災指針の作成



0市町村

（令和4年12月末時点）

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域 79河川  
（令和4年9月末時点）  
※一部、令和4年3月末時点  
内水浸水想定区域 0団体  
（令和4年9月末時点）

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画 洪水 958施設  
土砂 299施設  
（令和4年9月末時点）  
個別避難計画 3市町村  
（令和4年1月1日時点）

## 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

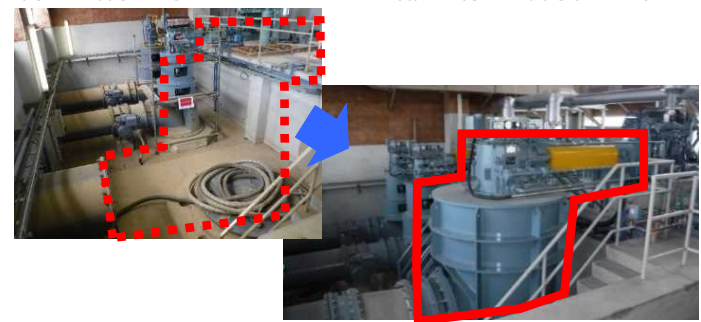
### 雨水貯留施設整備（福山市）

ため池（珠池）の整備を行うことで、雨水が河川等へ一気に流れ込むことを抑制させる。



### 古市排水ポンプ場3号ポンプ増設（広島県）

H30.7豪雨において、浸水被害のあった福山市神辺町周辺の天王前川の増水に対応するため、ポンプ増設を行い、排水能力を向上。



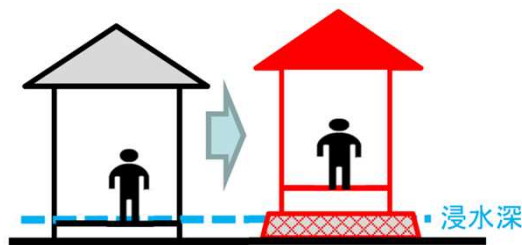
## 被害対象を減少させるための対策

### 止水板設置補助（福山市全域・府中市全域） 住宅嵩上げ補助（府中市全域）

大雨による浸水被害を軽減するため、建築物内部に水が浸入することを防ぐ止水板の設置や住宅等の嵩上げ工事等を行う際に費用の一部を補助する制度を創設。



【止水板の設置例】



【嵩上げ工事のイメージ】

## 被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

### 防災教育や防災知識の普及

命を守る率を上げた避難行動を促すための地区ごとのマイ・タイムライン作成の講習会や災害に対する心構えと避難に関する知識を養うための防災研修会を実施。

マイ・タイムライン作成講習会（府中市）



防災研修会（世羅町 伊尾・小谷地区）

